

《はじめに》

今年は本州に上陸した台風がなく、木々が強風に痛めつけられることもなかったせいか、ひときわ紅葉が鮮やかだったように思います。そんな艶やかな季節もいつの間にか過ぎ去り、木枯らしが吹く季節となってしまいました。

コロナ禍のただ中であって、今まさに感染拡大の第3波に見舞われていますが、思うように旅行にも行けず、正月の帰省客を安心して迎えられるかも定かではない状況が続いており、極めて異常な年末となってしまいました。

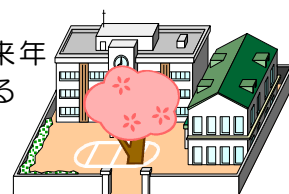
古賀志は高齢者が非常に多く、感染が大変心配されます。皆さん気を緩めることなく、感染防止対策の徹底をよろしくお願いします。

さて、例年ですとそろそろ来春の“孝子桜まつり”の準備を始める季節ですが、感染の収束が見通せない状況下で、開催ができるかどうか、また開催する場合はどのようなやり方にするのか、今後状況を確認しながら、慎重に検討していかなければなりません。

このような中、小規模特認校16年目を迎える城山西小学校では、例年どおり10月1日からの来年度の新規入学者の受付が始まっています。

今年度は、小規模特認校となって最高の児童数104名が在籍しています。来年度も引き続き100名を超えられる様、勧誘やPR活動など積極的に行っているところですが、気を緩めることなく今後もしっかり活動を進めて行きましょう。

今回も、考える会の取組など、地域の皆様に最新情報をお届けします。



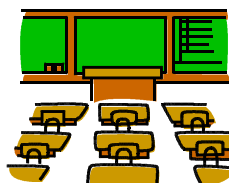
最新情報コーナー

◇◇西小で“学校一日公開日”が行われました！◇◇

12月5（土）城山西小学校において、コロナ対策を万全に行った上で来年度入学を考えている方々などを集めて、学校をPRする絶好の機会となる“学校一日公開日”が例年どおり行われました。

今年も西小を応援してくださっている文化人の先生方の授業が、行われました。

- 1・2年生は、妻木先生の創作ダンス
- 3年生は、粕谷先生の風船たまご作り
- 4年生は、櫻井先生の書
- 5年生は、林先生のマイ皿作り
- 5・6年生は、和久先生の箏演奏



外国語活動の授業風景

そのほか、西小の先生方が工夫を凝らした会話科や外国語活動などの授業を行ったほか、総合の授業では地元の坂根さんを講師に迎えて「ホタルプロジェクト」の授業が行われました。

どの授業も大変魅力的で、子どもたちの目はキラキラと輝き、いきいきと大変活発に活動していました。入校を検討しているご家族にとっては、前向きに考える良い材料となったことと思います。

なお、例年いっしょに開催されていた「ふれあい給食」と「地域協議会」は、大変残念なことにコロナの影響で中止となってしまい、改めて日常を早く取り戻したいと強く思いました。

すばらしい授業をしてくださった関係者の皆さん、ありがとうございました。



妻木先生のダンス指導



櫻井先生の書の指導



粕谷先生の風船たまご作り

活動報告

◇◇宇都宮大学主催の「地域プロジェクト演習」で

学生と意見交換を行いました！◇◇

宇都宮大学地域デザイン科学部が目玉事業として実施している「地域プロジェクト演習」として、10月1日（木）に学生からリモートによる取材を受け、活発な意見交換を行いました。

古賀志公民館に北條考える会会長や、大柿自治会長、地域の代表者、そしてこがし桜村の新住民の方々が集まり、様々な話題で盛り上がりしました。

統廃合の危機に直面した城山西小学校の存続のために、「孝子桜まつり」の開催や「こがし桜村プロジェクト」の推進など、取組の経緯や苦労した点、工夫した点などの説明をしたほか、新住民の方々からは、古賀志に移住した理由や地域の魅力などについてお話ししました。

地域と学校の連携による取組の成果が広く認知され、評価されているからこそその取材であり、これからもあらゆる機会を通して、地域と学校の魅力を伝えて行きたいと思います。



地域の魅力を語ります



活発な意見交換



孝子桜まつりの様子

◇◇『古賀志そば生産組合』で秋そばの初収穫を行いました！！◇◇

農業者の高齢化や担い手不足が加速し、耕作放棄地がどんどん増えている古賀志の農地を有効利用するために、『古賀志そば生産組合』が設立されましたが、10月31日（土）11月1日（日）とその翌週の11月7日（土）8日（日）の二週に渡って初収穫を行いました。

約2.2haの作付け面積に対して、収穫量2,245kgと、まあまあの量を確保することができました。

作付け面積を増やしたいところですが、土日作業が中心のためこれ以上は難しい状況にありますので、作業を行う仲間を増やすなどの工夫が必要になって来るのではないのでしょうか。

手探りの中でスタートした事業ですが、今後一層努力して、軌道に乗せてきたいと考えています。



コンバインによる収穫風景

西小情報

◇◇城山西小学校『なかよし田んぼ』の稲刈りが行われました！◇◇

新型コロナの影響で様々な学校行事が中止となる中で、子ども達に農作物を育てる苦労や収穫の喜びを体験させたいと、「なかよし田んぼ」で全校生徒による稲刈りが10月21日（水）に行われました。子ども達は慣れない鎌を使って、苦労しながらも楽しげに収穫していました。

この取組は、長年地域の方々の協力と支えにより続けているものですが、今年も田植え以降の管理全般を北條誠一さんが担い、そのほか多くの地域の方々に収穫や乾燥調整作業にご協力いただきました。

収穫された「もち米」は、学校給食や孝子桜まつり・食育フェアなどの各種イベントで活用されます。

地域の皆さん大変お世話になりました。今後ともご協力のほど、よろしくお願いします。



始まれば結構早いです！

今後とも考える会の活動に対して、ご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。

